

# 静岡県月例経済報告

(令和6年8月号)

……令和6年6月を中心とした県内経済のすがた……

No. 580

**ふじのくにセルローズ  
循環経済国際展示会**

植物由来で環境に優しいセルローズ素材を活用した製品が一堂に会する日本最大級の展示会を開催します。

<p>[環境省]</p>  <p>ナノセルローズヴィークル</p>	<p>[南トラス、スズキ㈱]</p>  <p>チームスズキCNチャレンジ車両</p>	<p>[静岡県、静岡大学、トヨタ車体㈱]</p>  <p>静岡県産木材等を使用したコンセプトカー</p>
--	---	---

— 静岡県経済産業部 —

## 目 次

I 静岡県経済の概況 .....	1
II 静岡県主要経済指標の概況 .....	4
・需要面 .....	4
・生産面 .....	12
・雇用面 .....	14
・その他 .....	17
III 静岡県主要産業の動向 .....	21
IV データからみた県内主要産業 .....	24

## 利用にあたって

- 1 本月報は、本県経済の状況について、経済統計及び産業動向をとりまとめたものである。
- 2 本月報は4部から構成されている。
- 3 第1部では、本県経済の概況について経済統計データを中心に述べているが、指標によっては当該月データが未公表のため前月値を用いる場合がある。これらの指標は文中に示している。
- 4 第2部では、本県経済の動向について主要経済指標を用いて、データとグラフで示している。
- 5 第3部では、本県の主要産業動向について簡単にまとめている。
- 6 第4部では、本県の主要産業動向についてデータで示している。
- 7 本月報で用いた ▲はマイナスを表している。
- 8 数字の単位未満は四捨五入することを基本としているが、情報提供元の公表方法に準拠させている。

この「静岡県月例経済報告」は、静岡県経済産業部のインターネット・ホームページに掲載しています。

ホームページアドレス(URL)

<https://www.pref.shizuoka.jp/sangyoshigoto/keizaisangyo/tokeishiryoku/getsureihoku/index.html>

# I 静岡県経済の概況

〔 本稿は、令和6年6月を中心とした経済統計及び企業ヒアリングをもとに取りまとめている。 〕

## 概況

令和6年6月を中心とした静岡県の景気は、一部に足踏みもみられるが、緩やかに持ち直している。

先行きについては、全体としては持ち直しの動きが期待される。ただし、雇用・所得環境や海外経済、金利、為替の動向等に十分注意する必要がある。

雇用情勢は、改善の動きに弱さがみられる。

- ・ 個人消費は、持ち直しに足踏みがみられる。
- ・ 設備投資は、製造業を中心に増加している。
- ・ 輸出は、おおむね横ばいとなっている。
- ・ 生産は、持ち直しの動きがみられる。

（下線部は前月からの変更箇所）

## 需要面

### 「個人消費は、持ち直しに足踏みがみられる」

大型小売店販売額（6月）は、百貨店が9か月ぶり、スーパーが3か月ぶりに前年実績を上回ったため、総額でも3か月ぶりに前年実績を上回った。

専門量販店等販売額（6月）は、家電大型専門店が3か月ぶり、コンビニエンスストアが2か月連続、ドラッグストアが38か月連続、ホームセンターが2か月ぶりに前年実績を上回ったため、総額でも30か月連続で前年実績を上回った。

自動車（新車）新規登録台数（6月）は、乗用車が7か月連続、軽自動車が8か月連続で前年実績を下回ったため、総数でも7か月連続で前年実績を下回った。

### 「住宅建設は、前年を下回った」

新設住宅着工戸数（6月）は、持家、分譲住宅がいずれも2か月ぶり、貸家が2か月連続で前年実績を下回ったため、総数でも3か月ぶりに前年実績を下回った。

### 「公共投資は、前年を上回った」

公共工事請負金額（6月）は、2か月連続で前年実績を上回った。

### 「設備投資は、製造業を中心に増加している」

日銀短観（6月調査）の令和6年度の設備投資（含む土地投資）（計画）は、製造業、非製造業、全産業においていずれも増加する計画となっている。

また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）（計画）は、製造業、非製造業、全産業においていずれも増加する計画となっている。

着工建築物床面積（非居住用）（6月）は、3か月連続で前年実績を上回った。

「輸出は、おおむね横ばいとなっている」

「輸入は、前年を下回った」

輸出総額(6月)は、原動機が9か月連続、二輪自動車類が3か月ぶりに前年実績を下回ったものの、エアコンが13か月ぶり、自動車(3か月連続)、自動車の部分品が12か月連続、科学光学機器が6か月連続で前年実績を上回ったため、総額でも3か月連続で前年実績を上回った。

また、輸入総額(6月)は、紙類及び同製品が3か月連続、原動機が7か月連続、自動車の部分品が15か月連続で前年実績を上回ったものの、魚介類及び同調製品が2か月ぶり、木材が4か月連続、パルプが2か月連続で前年実績を下回ったため、総額でも2か月ぶりに前年実績を下回った。

なお、輸出入のバランスは、1,153億円の輸出超過となった。

## 生産面

「生産は、持ち直しの動きがみられる」

鉱工業生産指数(6月)は、業種別にみると、パルプ・紙・紙加工品が3か月連続で前年水準を上回ったものの、はん用・生産用・業務用機械が2か月連続、電気機械が7か月連続、輸送機械、化学がいずれも3か月ぶり、食料品・たばこが2か月ぶりに前年水準を下回ったため、総合でも2か月ぶりに前年水準を下回った。なお、前月比は3か月ぶりに減少した。

鉱工業在庫指数は、総合では2か月連続で前年水準を下回った。

## 雇用面

「雇用情勢は、改善の動きに弱さがみられる」

有効求人倍率(6月)は1.09倍となり、前月を0.02ポイント下回った。全国値を0.14ポイント下回った。

雇用保険受給者実人員(6月)は、15か月連続で前年実績を上回った。

また、所定外労働時間指数(5月)は、5か月連続で前年実績を上回った。

## その他

「金融環境は、貸出残高は前年を下回り、信用保証金額は前年を上回った」

県内金融機関の貸出残高(5月)は、前年同月比 0.4%減と前年実績を下回った。

信用保証協会保証金額(6月)は、前年同月比 6.8%増と前年実績を上回った。

「企業倒産は、件数、負債総額のいずれも前年を下回った」

企業倒産(6月)は、件数は13件(前年同月比 13.3%減)、負債総額は1,340百万円(同 17.7%減)と、いずれも前年実績を下回った。

## <トピックス>

過去最大! 海外企業を含む123社がふじさんめっせに集結!!

# ふじのくにセルロース 循環経済国際展示会

植物由来で環境に優しいセルロース素材を活用した製品が  
一堂に会する日本最大級の展示会を開催します。

ナノセルロースヴィークル、チームスズキCNチャレンジ車両、県産木材等を使用したコンセプトカーの展示、  
大手企業からベンチャーまで様々な企業のプレゼンテーション、メディアで話題の新素材が多数出展。  
「見て、聴いて、触って」植物素材の最前線をビジネスチャンスに!

### 開催期間

2024年 **10月24日(木)** 13:00 ~ 16:00  
**10月25日(金)** 9:00 ~ 15:00

### 会場

**ふじさんめっせ 大展示場**  
(静岡県富士市柳島189-8)

**参加  
無料**

### 事前登録制

コチラのフォームから  
ご登録をお願いします



### 開催内容

**01 企業・団体ブース** (過去最多123社・団体)

詳細は裏面▶

**02 植物素材(セルロース素材)を活用した車両展示**



[環境省]

ナノセルロースヴィークル



[尚トラス、スズキ㈱]

チームスズキCNチャレンジ車両



[静岡県、静岡大学、  
トヨタ車体㈱]

静岡県産木材等を使用したコンセプトカー

**03 企業プレゼンテーション** (37社・団体)

プレゼンテーション実施企業は裏面の★印

**04 個別商談ブース**

### 来場者特典

来場者の方には、  
「KAMIDE+CNF  
ふじっぴースマホスタンド」  
をプレゼント

各日先着400名



【主催者】静岡県(ふじのくにセルロース循環経済フォーラム) / 富士市(富士市CNFプラットフォーム)

【後援(予定)】経済産業省 / ナノセルロースジャパン / 京都市産業技術研究所 / 京都大学 / 四国CNFプラットフォーム  
薩摩川内市竹バイオマス産業都市協議会 / 晴れの国CNF連絡会 / みやぎCNFプロジェクトチーム

【お問い合わせ】静岡県新産業集積課 TEL 054-221-2985 E-mail: trc@pref.shizuoka.lg.jp

## II 静岡県主要経済指標の概況

### 需 要 面

#### 1 個人消費

##### (1) 大型小売店販売額

6 月 = 38,043百万円

\*前年同月比： 3.7%増

(県内3百貨店、160スーパー合計)

<概況>

6月の大型小売店販売額は38,043百万円で、前年同月比3.7%増となり、3か月ぶりに前年実績を上回った。

業態別にみると、百貨店（前年同月比5.2%増）が9か月ぶり、スーパー（同3.4%増）が3か月ぶりに前年実績を上回った。

商品別では、身の回り品（同5.8%減）が10か月連続、家庭用品（同4.1%減）が4か月ぶりに前年実績を下回ったものの、衣料品（同2.3%増）が7か月ぶり、飲食料品（同3.7%増）が2か月連続で前年実績を上回った。

なお、店舗数調整前の前年同月比は5.0%増と、6か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R5年11月	12月	R6年1月	2月	3月	4月	5月	6月
販売額(百万円)	37,605	46,496	38,659	34,996	38,742	36,018	37,407	38,043
前年同月比(%)	0.9	▲2.3	▲0.8	1.8	3.6	▲1.3	▲0.7	3.7
うち百貨店(%)	▲2.4	▲3.4	▲3.1	▲2.7	▲1.4	▲5.3	▲0.1	5.2
スーパー(%)	1.6	▲2.1	▲0.3	2.6	4.6	▲0.6	▲0.8	3.4
(参考1)全国前年同月比(%)	4.4	2.5	3.3	7.2	6.4	2.7	4.1	6.6
うち百貨店(%)	7.7	5.8	7.8	13.7	9.8	8.5	13.9	13.8
スーパー(%)	3.1	1.1	1.7	4.9	5.1	0.6	0.6	3.9
(参考2)県前年同月比(店舗数調整前)	3.4	▲0.2	1.8	4.3	6.2	1.1	0.6	5.0

(注1) 販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

(注2) 令和2年3月に調査事業者の見直しを行ったため、前年同月比の計算についてはリンク係数処理済み

<商品別前年同月比の推移>

(単位：%)

	R5年11月	12月	R6年1月	2月	3月	4月	5月	6月
衣料品	3.1	▲7.4	▲2.3	▲1.6	▲4.1	▲6.1	▲5.5	2.3
うち紳士服・洋品	13.2	▲10.2	▲4.8	0.0	▲5.6	▲3.2	▲4.8	4.9
婦人・子供服・洋品	▲0.3	▲5.6	▲0.4	▲1.6	▲3.3	▲6.6	▲5.3	1.9
身の回り品	▲11.9	▲21.0	▲20.6	▲17.0	▲1.8	▲18.4	▲22.2	▲5.8
飲食料品	0.6	▲1.0	0.3	2.7	4.6	▲0.2	0.1	3.7
家庭用品	▲3.5	▲5.2	▲3.4	▲0.3	10.5	1.1	2.6	▲4.1
うち家庭用電気機械器具	7.0	▲3.0	▲5.7	1.6	7.7	3.6	6.1	▲5.5

(注)店舗数調整済、全月速報値

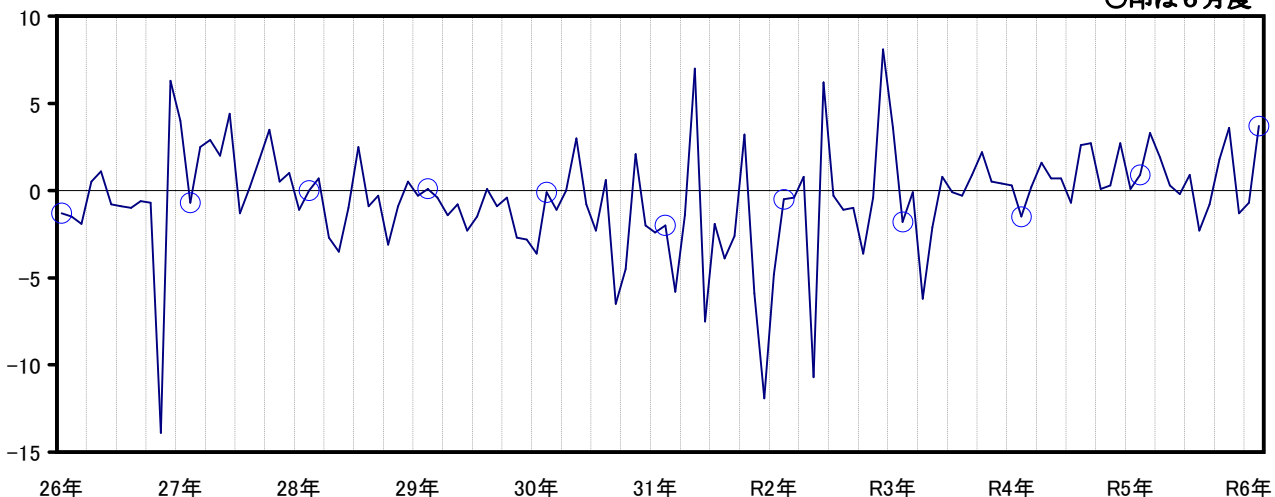
<資料>経済産業省

<過去10年間の推移>

大型小売店販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省

○印は6月度



## (2) 専門量販店等販売額

6月 = 78,430百万円

\*前年同月比：4.3%増

(県内93家電大型専門店、1,656コンビニエンスストア、611ドラッグストア、110ホームセンター合計)

### <概況>

6月の専門量販店等販売額は78,430百万円で、前年同月比4.3%増となり、30か月連続で前年実績を上回った。

業態別にみると、家電大型専門店(前年同月比9.3%増)が3か月ぶり、コンビニエンスストア(同0.9%増)が2か月連続、ドラッグストア(同6.5%増)が38か月連続、ホームセンター(同3.6%増)が2か月ぶりに前年実績を上回った。

### <最近の動き>

	R5年11月	12月	R6年1月	2月	3月	4月	5月	6月
販売額(百万円)	74,993	86,114	74,586	70,910	80,428	75,755	77,410	78,430
前年同月比(%)	3.2	0.1	0.3	3.9	3.4	0.8	1.1	4.3
うち 家電大型専門店(%)	▲1.7	▲8.7	▲10.3	▲7.4	4.0	▲2.6	▲5.5	9.3
コンビニエンスストア(%)	0.6	▲0.3	▲0.1	3.6	▲0.5	▲0.7	0.3	0.9
ドラッグストア(%)	6.7	5.6	4.6	8.7	6.7	3.3	4.0	6.5
ホームセンター(%)	5.8	▲5.0	▲1.0	▲0.6	4.1	0.4	▲0.3	3.6
(参考)全国前年同月比(%)	3.4	2.4	1.6	5.6	4.1	2.5	2.8	5.0

(注1) 販売額、前年同月比は店舗数未調整

<資料>経済産業省

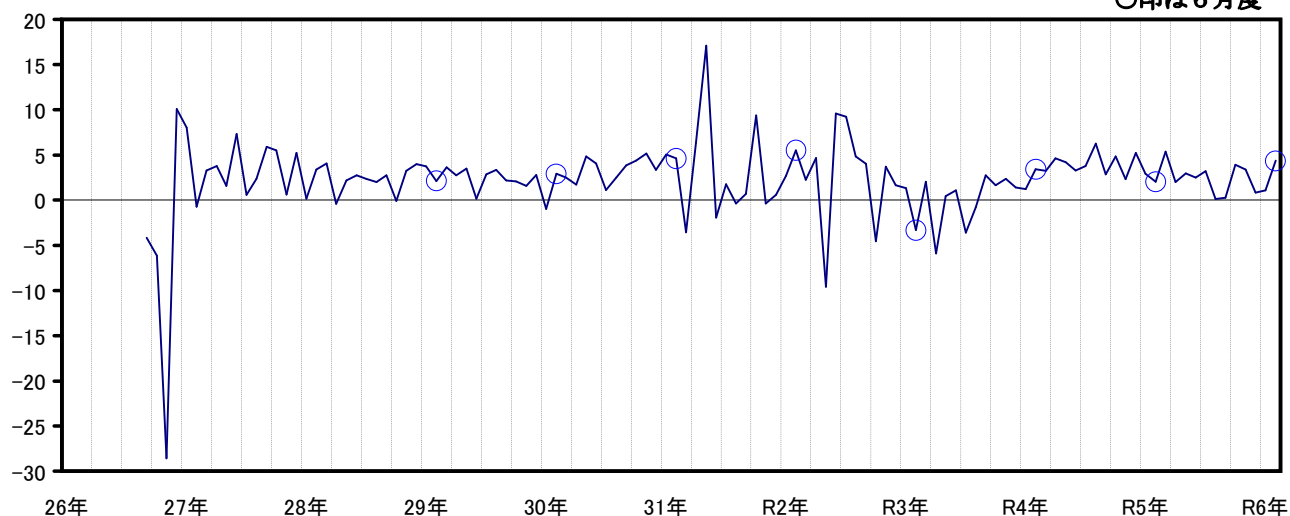
(注2) 平成28年7月からコンビニエンスストアの販売額を追加

### <過去10年間の推移>

専門量販店等販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省

○印は6月度



(3) 自動車(新車)新規登録台数

6月 = 12,435台

\*前年同月比： 4.4%減

(乗用車、軽自動車合計)

<概況>

6月の自動車(新車)新規登録台数は12,435台で、7か月連続で前年実績を下回った。車種別にみると、乗用車(前年同月比2.7%減)が7か月連続、軽自動車(同6.3%減)が8か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R5年11月	12月	R6年1月	2月	3月	4月	5月	6月
登録台数(台)	14,028	12,336	12,364	12,779	15,695	10,544	10,295	12,435
前年同月比(%)	0.0	▲8.2	▲13.7	▲19.4	▲20.9	▲11.5	▲8.8	▲4.4
(参考)全国前年同月比(%)	11.7	6.1	▲10.8	▲16.2	▲19.6	▲10.6	▲3.9	▲6.1

<資料>県税務課、日本自動車販売協会連合会

<車種別(新車)新規登録台数前年同月比の推移>

(単位：%)

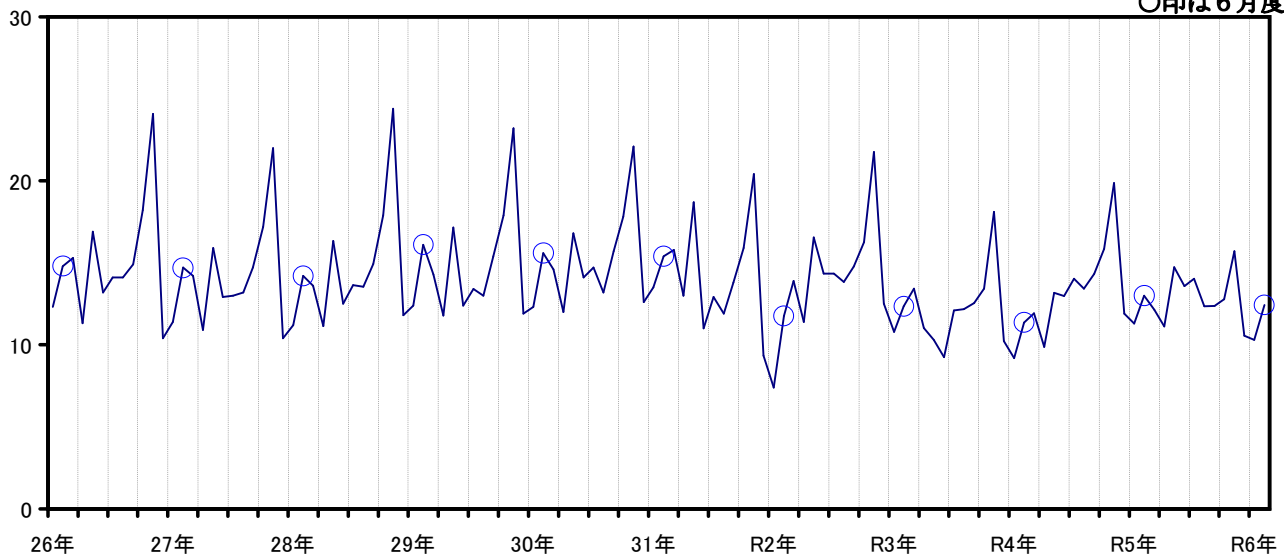
	R5年11月	12月	R6年1月	2月	3月	4月	5月	6月
全乗用車	0.0	▲8.2	▲13.7	▲19.4	▲20.9	▲11.5	▲8.8	▲4.4
乗用車	7.2	▲3.2	▲5.4	▲13.6	▲16.2	▲1.5	▲4.3	▲2.7
軽自動車	▲6.9	▲13.5	▲21.6	▲25.6	▲26.5	▲22.5	▲13.9	▲6.3

<資料>県税務課

<過去10年間の推移>

自動車(新車)新規登録台数(千台)

<資料>県税務課  
○印は6月度



(注)全国前年同月比は乗用車+軽乗用車



## 2 新設住宅着工戸数

6月 = 1,409 戸

\*前年同月比： 13.1%減

### <概況>

6月の新設住宅着工戸数は1,409戸で、前年同月比 13.1%減と、3か月ぶりに前年実績を下回った。

利用関係別にみると、持家（前年同月比 2.2%減）、分譲住宅（同 19.5%減）がいずれも2か月ぶり、貸家（同 24.2%減）が2か月連続で前実績を下回った。

### <最近の動き>

	R 5年11月	12月	R 6年1月	2月	3月	4月	5月	6月
戸数 (戸)	1,452	1,512	1,316	1,552	1,598	1,750	2,078	1,409
前年同月比 (%)	▲ 13.8	▲ 9.9	▲ 15.3	2.8	▲ 3.5	2.2	24.3	▲ 13.1
うち持家 (%)	▲ 14.0	▲ 18.7	2.2	▲ 7.9	▲ 19.5	▲ 0.4	2.5	▲ 2.2
貸家 (%)	▲ 11.0	▲ 19.9	▲ 12.1	41.0	15.6	64.1	▲ 9.2	▲ 24.2
分譲住宅 (%)	▲ 18.5	32.9	▲ 47.2	17.3	▲ 7.8	▲ 44.5	115.5	▲ 19.5
(参考)全国前年同月比 (%)	▲ 8.5	▲ 4.0	▲ 7.5	▲ 8.2	▲ 12.8	13.9	▲ 5.3	▲ 6.7

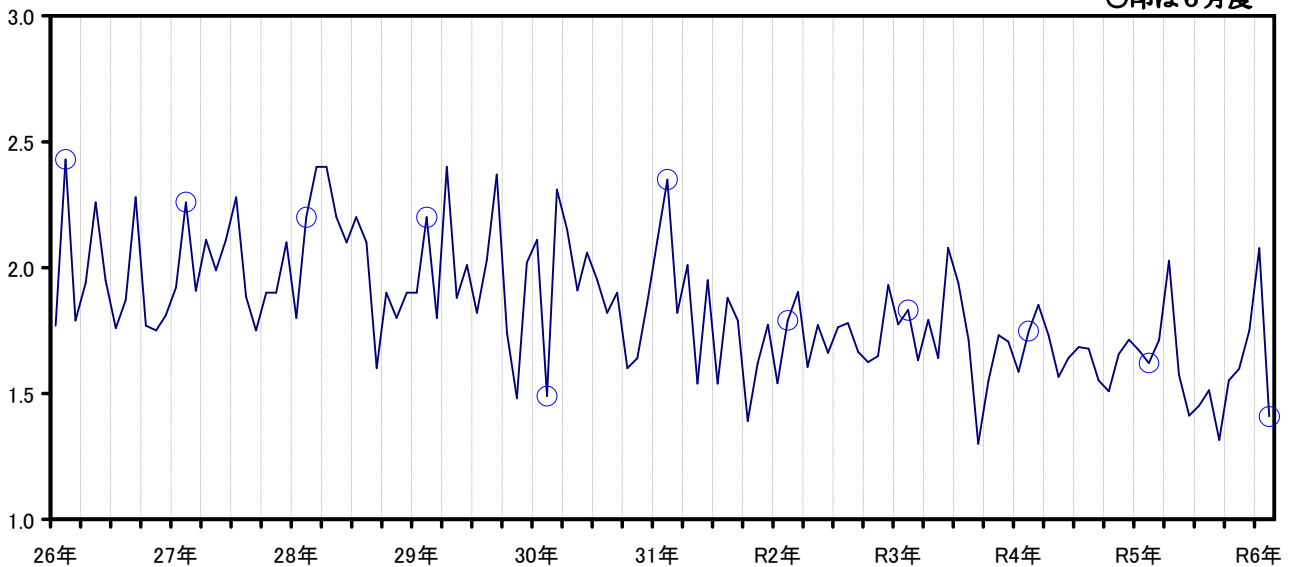
<資料>県住まいづくり課

### <過去10年間の推移>

新設住宅着工戸数(千戸)

<資料>県住まいづくり課

○印は6月度



### 3 公共工事請負金額

6月 = 37,109百万円

\*前年同月比： 3.7%増

(建設保証会社保証実績)

#### <概況>

6月の公共工事の請負金額（工事場所ベース）は37,109百万円で、前年同月比 3.7%増となり、2か月連続で前年実績を上回った。また、取扱い件数（工事場所ベース）は768件で、前年同月比 9.0%減となり、3か月ぶりに前年実績を下回った。

#### <最近の動き>

	R5年11月	12月	R6年1月	2月	3月	4月	5月	6月
金額（百万円）	18,433	15,407	17,962	14,224	23,122	52,491	48,004	37,109
前年同月比（%）	43.3	21.5	65.5	▲26.1	▲23.0	▲3.7	18.1	3.7
年度累計前年同月比（%）	▲0.4	0.6	3.1	1.2	▲1.0	▲3.7	5.6	5.1
件数（件）	616	456	277	192	405	551	670	768
前年同月比（%）	18.9	8.3	▲8.0	▲39.2	▲35.4	10.2	9.5	▲9.0
年度累計前年同月比（%）	2.3	2.7	2.2	0.2	▲2.9	10.2	9.8	1.7

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

#### <発注者別請負金額前年同月比の推移>

(単位：%)

	R5年11月	12月	R6年1月	2月	3月	4月	5月	6月
国	▲5.3	▲76.2	52.2	65.8	7.6	▲39.9	11.6	15.5
独立行政法人等	▲16.4	▲86.2	1,328.9	-	▲87.3	▲78.3	▲16.8	14.9
県	37.6	53.2	▲21.5	▲24.0	▲36.6	50.0	17.9	▲20.3
市町	27.8	82.2	187.5	▲59.7	▲21.8	23.3	53.9	15.4
地方公社	-	-	-	-	-	-	-	242.4
その他	2,344.2	277.6	▲48.2	▲24.2	17.5	▲38.0	▲59.0	▲21.8

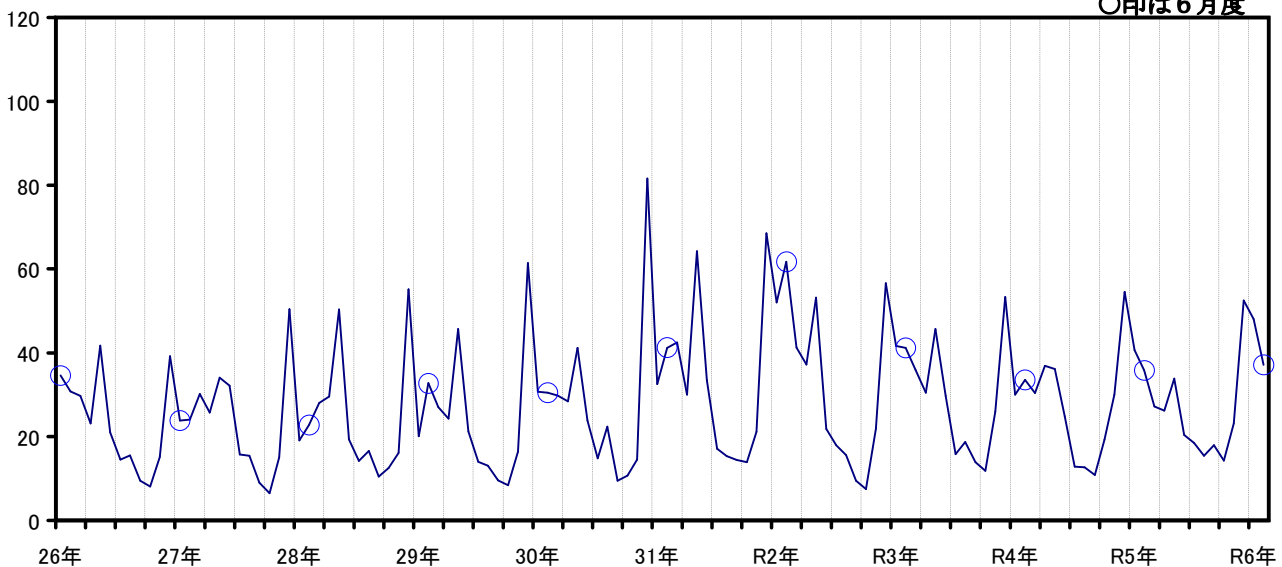
<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

#### <過去10年間の推移>

公共工事請負金額(十億円)

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

○印は6月度



## 4 設備投資

### <概況>

令和5年度の設備投資（含む土地投資）、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業、非製造業、全産業においていずれも増加した。

令和6年度の設備投資（含む土地投資）は、製造業（前年度比 34.4%増）、非製造業（同 0.2%増）、全産業（同 18.1%増）においていずれも増加する計画となっている。また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業（前年度比 19.6%増）、非製造業（同 1.2%増）、全産業（同 15.1%増）においていずれも増加する計画となっている。

6月の着工建築物床面積（非居住用）は155,246㎡で、前年同月比 11.7%増となり、3か月連続で前年実績を上回った。

### <企業短期経済観測調査結果>（前年度比%（ ）内は前回調査比修正率）

#### 設備投資（含む土地投資）

		R5年度 (実績)	R6年度 (計画)
全産業	県	(▲2.9) 7.1	(4.5) 18.1
	全国	(▲0.2) 10.6	(4.8) 8.4
製造業	県	(▲6.5) 5.4	(2.9) 34.4
	全国	(▲2.5) 6.7	(5.7) 17.2
非製造業	県	(1.4) 9.0	(6.8) 0.2
	全国	(1.2) 12.8	(4.2) 3.5

#### ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）

		R5年度 (実績)	R6年度 (計画)
全産業	県	(▲3.0) 8.1	(5.4) 15.1
	全国	(▲0.7) 9.4	(5.1) 10.6
製造業	県	(▲4.5) 8.2	(5.1) 19.6
	全国	(▲2.0) 6.5	(5.4) 13.0
非製造業	県	(1.9) 7.9	(6.6) 1.2
	全国	(0.7) 12.7	(4.8) 8.1

（注1）平成29年3月調査分から半期計数の掲載を取り止め、年度計数のみを掲載

（注2）平成29年3月調査分から「ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）」を追加

<資料>日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(令和6年6月調査)」

日本銀行調査統計局「全国企業短期経済観測調査」(令和6年6月調査)」

### <最近の動き>

	R5年11月	12月	R6年1月	2月	3月	4月	5月	6月
着工建築物床面積（非居住用）（㎡）	255,946	103,727	85,946	263,055	68,223	92,388	142,074	155,246
前年同月比（%）	76.8	▲37.6	▲27.8	302.5	▲36.4	18.4	5.7	11.7
（参考）全国前年同月比（%）	▲9.8	1.0	▲16.1	▲13.0	15.7	▲15.8	▲11.8	7.8

（注3）着工建築物床面積は公共と民間の合計のうち、非居住用

<資料>国土交通省

### <参考 県内企業の業況判断D. I. >

		R6年3月	R6年6月	R6年9月 (予測)
全産業		7	5	3
	製造業	▲1	▲8	▲4
	非製造業	14	17	9
（参考）全国・全産業		12	12	10

（注4）業況判断D. I. : 「良い」-「悪い」回答社数構成比%ポイント

<資料> 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(令和6年6月調査)」

## 5 輸出

6 月 = 226,578百万円

\*前年同月比： 1.1%増

(清水税関支署管内通関実績)

### <概況>

6月の清水税関支署管内の輸出総額は226,578百万円で、前年同月比 1.1%増となり、3か月連続で前年実績を上回った。

主要な品目別にみると、原動機（前年同月比 33.0%減）が9か月連続、二輪自動車類（同 9.1%減）が3か月ぶりに前年実績を下回ったものの、エアコン（同 8.9%増）が13か月ぶり、自動車（同 14.9%増）が3か月連続、自動車の部分品（同 17.1%増）が12か月連続、科学光学機器（同 25.9%増）が6か月連続で前年実績を上回った。

地域別にみると、米国向け（同 4.9%減）が3か月連続、EU向け（同 9.4%減）が4か月連続で前年実績を下回ったものの、アジア向け（同 6.6%増）が4か月連続で前年実績を上回った。

### <最近の動き>

	R5年11月	12月	R6年1月	2月	3月	4月	5月	6月
輸出総額(百万円)	238,157	235,745	188,141	226,334	225,732	225,721	194,641	226,578
前年同月比(%)	▲ 2.7	▲ 5.0	5.0	7.6	▲ 4.1	0.4	1.4	1.1
(参考)全国前年同月比(%)	▲ 0.2	9.8	11.9	7.8	7.3	8.3	13.5	5.4

<資料>清水税関支署

### <主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R5年11月	12月	R6年1月	2月	3月	4月	5月	6月
原動機	▲ 0.3	▲ 25.1	▲ 19.3	▲ 16.8	▲ 10.6	▲ 37.0	▲ 24.0	▲ 33.0
エアコン	▲ 51.1	▲ 73.2	▲ 74.3	▲ 74.0	▲ 73.9	▲ 59.9	▲ 31.2	8.9
自動車	76.0	36.6	45.7	103.4	▲ 24.4	46.8	25.4	14.9
自動車の部分品	29.2	37.4	16.4	41.9	12.0	18.8	10.4	17.1
二輪自動車類	20.9	11.1	10.3	29.5	▲ 10.7	6.9	4.7	▲ 9.1
科学光学機器	▲ 8.6	▲ 12.3	4.2	15.0	8.8	23.3	8.8	25.9

<資料>清水税関支署

### <地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R5年11月	12月	R6年1月	2月	3月	4月	5月	6月
アジア	▲ 6.1	▲ 3.1	12.0	▲ 0.8	5.5	13.0	17.0	6.6
米国	▲ 6.1	▲ 8.5	▲ 12.7	0.4	5.6	▲ 16.9	▲ 6.1	▲ 4.9
EU	6.4	▲ 6.1	8.6	25.7	▲ 27.0	▲ 2.8	▲ 8.2	▲ 9.4

<資料>清水税関支署

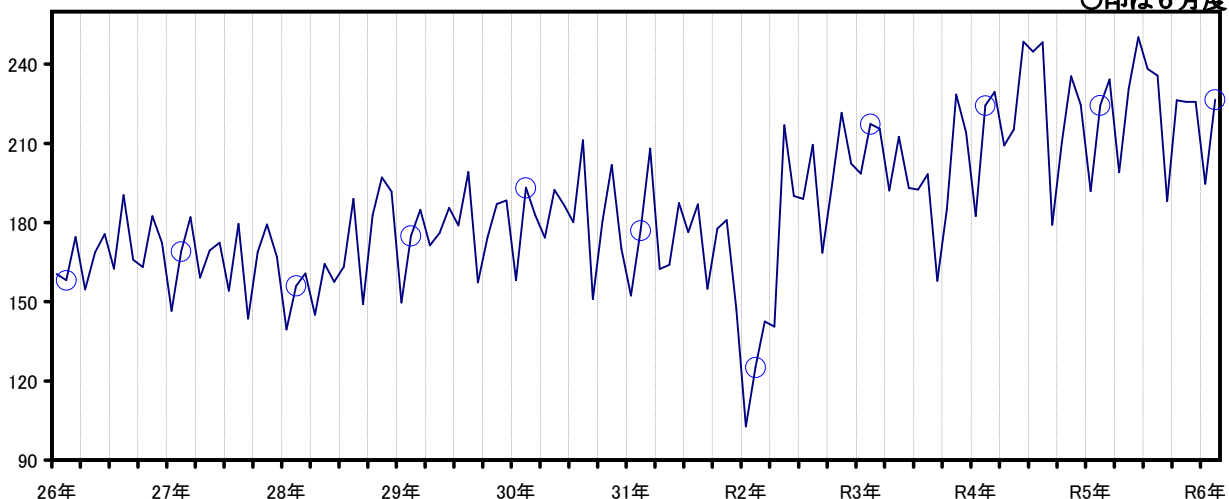
(注) 管内とは、清水港(焼津、沼津、浜松、興津の各出張所及び下田監視所含む)、田子の浦港、御前崎港、静岡空港の4つをいう。  
なお、数値は、通関手続きが行われた金額である。輸入も同様。

### <過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸出額(十億円)

<資料>清水税関支署

○印は6月度



## 6 輸入

6月 = 111,276百万円

\*前年同月比： 10.5%減

(清水税関支署管内通関実績)

### <概況>

6月の清水税関支署管内の輸入総額は111,276百万円で、前年同月比 10.5%減となり、2か月ぶりに前年実績を下回った。

主要な品目別にみると、紙類及び同製品（前年同月比 12.0%増）が3か月連続、原動機（同 30.9%増）が7か月連続、自動車の部分品（同 4.7%増）が15か月連続で前年実績を上回ったものの、魚介類及び同調製品（同 2.0%減）が2か月ぶり、木材（同 19.1%減）が4か月連続、パルプ（同 4.2%減）が2か月連続で前年実績を下回った。

地域別では、アジアから（同 5.2%減）が3か月ぶり、米国から（同 6.9%減）が2か月連続、EUから（同 4.1%減）が2か月ぶりに前年実績を下回った。

### <最近の動き>

	R5年11月	12月	R6年1月	2月	3月	4月	5月	6月
輸入総額(百万円)	122,779	113,523	148,198	110,710	102,906	121,307	130,602	111,276
前年同月比(%)	▲12.3	▲23.4	8.6	▲16.8	▲22.8	▲1.4	6.8	▲10.5
(参考)全国前年同月比(%)	▲11.9	▲6.8	▲9.6	0.5	▲4.9	8.3	9.5	3.2

### <主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R5年11月	12月	R6年1月	2月	3月	4月	5月	6月
魚介類及び同調製品	▲38.6	▲25.3	▲11.1	10.5	▲6.6	▲47.8	11.3	▲2.0
木材	▲26.3	2.5	▲37.0	45.0	▲8.2	▲17.4	▲6.0	▲19.1
パルプ	▲19.8	▲57.3	▲50.9	8.1	▲18.2	20.3	▲22.8	▲4.2
紙類及び同製品	16.1	▲28.3	33.6	▲18.8	▲12.4	60.1	22.0	12.0
原動機	▲11.0	29.8	36.2	64.3	20.7	42.9	67.0	30.9
自動車の部分品	28.8	40.1	39.0	39.9	31.9	66.8	49.2	4.7

<資料>清水税関支署

### <地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R5年11月	12月	R6年1月	2月	3月	4月	5月	6月
アジア	▲8.0	▲2.5	▲12.5	4.6	▲27.1	17.9	12.5	▲5.2
米国	2.2	▲71.4	353.9	▲72.3	15.1	11.3	▲20.0	▲6.9
EU	▲20.5	▲44.7	▲42.9	15.6	24.5	▲43.5	26.3	▲4.1

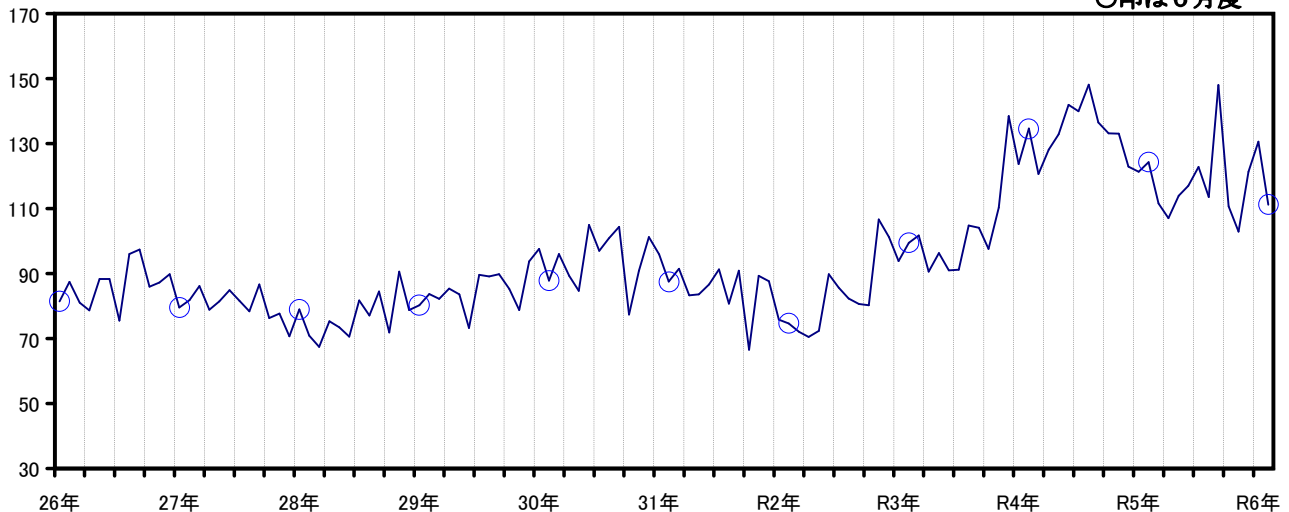
<資料>清水税関支署

### <過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸入額(十億円)

<資料>清水税関支署

○印は6月度



# 生産面

## 1 生産

### (1) 鉱工業生産指数

6月 = 96.8

(令和2年=100、鉱工業総合、季節調整済指数)

\*前月比(季節調整済指数) : 8.2%減

\*前年同月比(原指数) : 9.2%減

#### <概況>

6月の鉱工業生産指数(総合)は96.8(季節調整済指数)で、前月比は8.2%減と、3か月ぶりに減少した。また、前年同月比(原指数)は9.2%減と、2か月ぶりに前年水準を下回った。業種別にみると、パルプ・紙・紙加工品(前年同月比3.2%増)が3か月連続で前年水準を上回ったものの、はん用・生産用・業務用機械(同12.7%減)が2か月連続、電気機械(同19.1%減)が7か月連続、輸送機械(同4.2%減)、化学(同12.1%減)がいずれも3か月ぶり、食料品・たばこ(同8.9%減)が2か月ぶりに前年水準を下回った。

#### <最近の動き>

	R5年11月	12月	R6年1月	2月	3月	4月	5月	6月
指数	101.2	99.5	91.5	98.2	93.5	96.3	105.4	96.8
前月比(%)	▲2.2	▲1.7	▲8.0	7.3	▲4.8	3.0	9.4	▲8.2
前年同月比(%)	▲1.2	▲6.5	▲3.1	3.3	▲8.6	▲1.4	4.7	▲9.2
(参考)全国前年同月比(%)	▲1.4	▲1.0	▲1.5	▲3.9	▲6.2	▲1.8	1.1	▲7.9

(注)令和2年=100、鉱工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

#### <県内業種別鉱工業生産指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R5年11月	12月	R6年1月	2月	3月	4月	5月	6月
はん用・生産用・業務用機械工業	▲7.5	▲5.6	1.5	24.9	▲13.5	2.0	▲11.2	▲12.7
電気機械工業	1.5	▲4.2	▲6.6	▲8.3	▲23.3	▲14.1	▲8.1	▲19.1
輸送機械工業	4.0	4.7	▲2.0	9.5	▲4.3	6.6	12.5	▲4.2
化学工業	▲10.1	▲30.4	2.3	7.5	▲4.1	8.5	21.2	▲12.1
パルプ・紙・紙加工品工業	▲1.0	▲1.0	0.8	1.6	▲3.7	0.2	2.9	3.2
食料品・たばこ工業	▲1.4	▲4.2	▲7.6	▲1.8	▲5.8	▲4.4	5.4	▲8.9

(注)令和2年=100、鉱工業総合、前年同月比:原指数

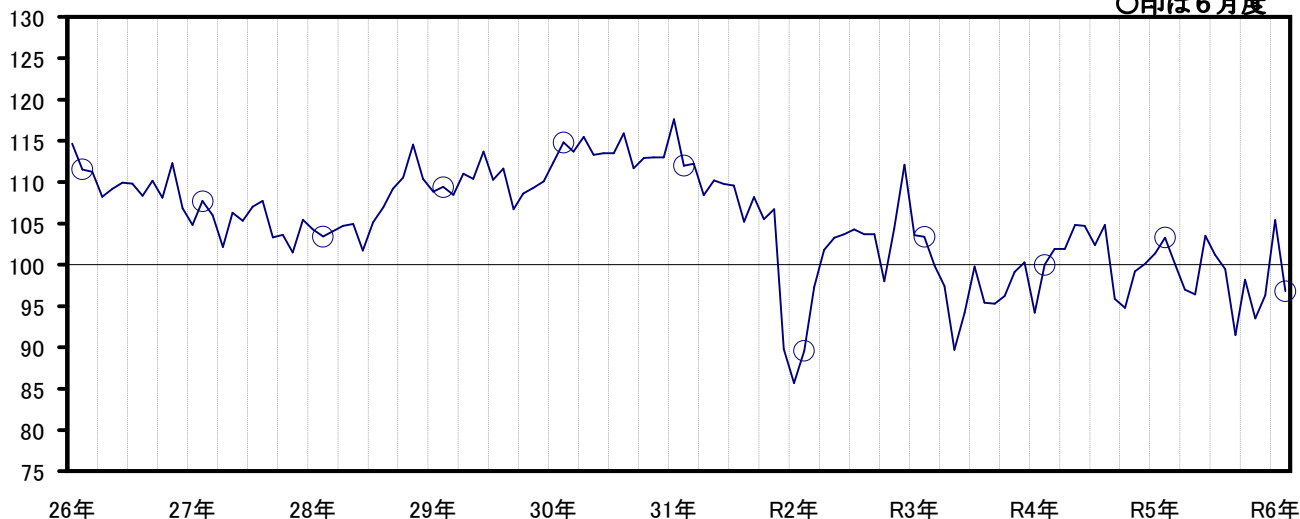
<資料>県統計調査課

#### <過去10年間の推移>

鉱工業生産指数(総合、令和2年=100)

<資料>県統計調査課

○印は6月度



## (2) 鋳工業在庫指数

6 月 = 105.3

(令和2年=100、鋳工業総合、季節調整済指数)

\*前月比(季節調整済指数) : 2.2%減

\*前年同月比(原指数) : 2.6%減

### <概況>

6月の鋳工業在庫指数(総合)は105.3(季節調整済指数)で、前月比は2.2%減と、5か月ぶりに減少した。また、前年同月比(原指数)は2.6%減と、2か月連続で前年水準を下回った。なお、在庫動向を在庫循環図で見ると、今期は「在庫調整局面(景気後退期)」に該当する。業種別にみると、輸送機械(前年同月比3.2%増)が3か月連続、パルプ・紙・紙加工品(同3.4%増)が3か月ぶりに前年水準を上回ったものの、はん用・生産用・業務用機械(同0.3%減)が7か月ぶり、電気機械(同19.0%減)、化学(同6.6%減)がいずれも10か月連続、食品・たばこ(同2.3%減)が3か月連続で前年水準を下回った。

### <最近の動き>

	R5年11月	12月	R6年1月	2月	3月	4月	5月	6月
指数	105.5	105.1	101.9	103.9	105.9	106.2	107.7	105.3
前月比(%)	1.4	▲0.4	▲3.0	2.0	1.9	0.3	1.4	▲2.2
前年同月比(%)	▲2.3	0.2	▲1.4	1.0	0.6	0.5	▲0.6	▲2.6
(参考)全国前年同月比(%)	1.0	▲0.2	▲1.8	▲1.7	▲1.0	▲2.4	▲2.1	▲2.7

(注)令和2年=100、鋳工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

### <県内業種別鋳工業在庫指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R5年11月	12月	R6年1月	2月	3月	4月	5月	6月
はん用・生産用・業務用機械工業	▲7.9	15.3	7.7	31.2	8.4	3.5	1.3	▲0.3
電気機械工業	▲5.8	▲5.4	▲4.0	▲0.4	▲4.3	▲7.7	▲10.6	▲19.0
輸送機械工業	▲9.4	▲8.3	▲7.4	▲20.0	▲8.7	2.4	13.3	3.2
化学工業	▲6.8	▲10.3	▲13.2	▲3.7	▲0.6	▲1.9	▲4.8	▲6.6
パルプ・紙・紙加工品工業	2.7	2.3	2.2	1.1	2.3	▲1.8	▲1.7	3.4
食品・たばこ工業	5.9	3.6	3.4	▲0.8	1.8	▲1.0	▲5.9	▲2.3

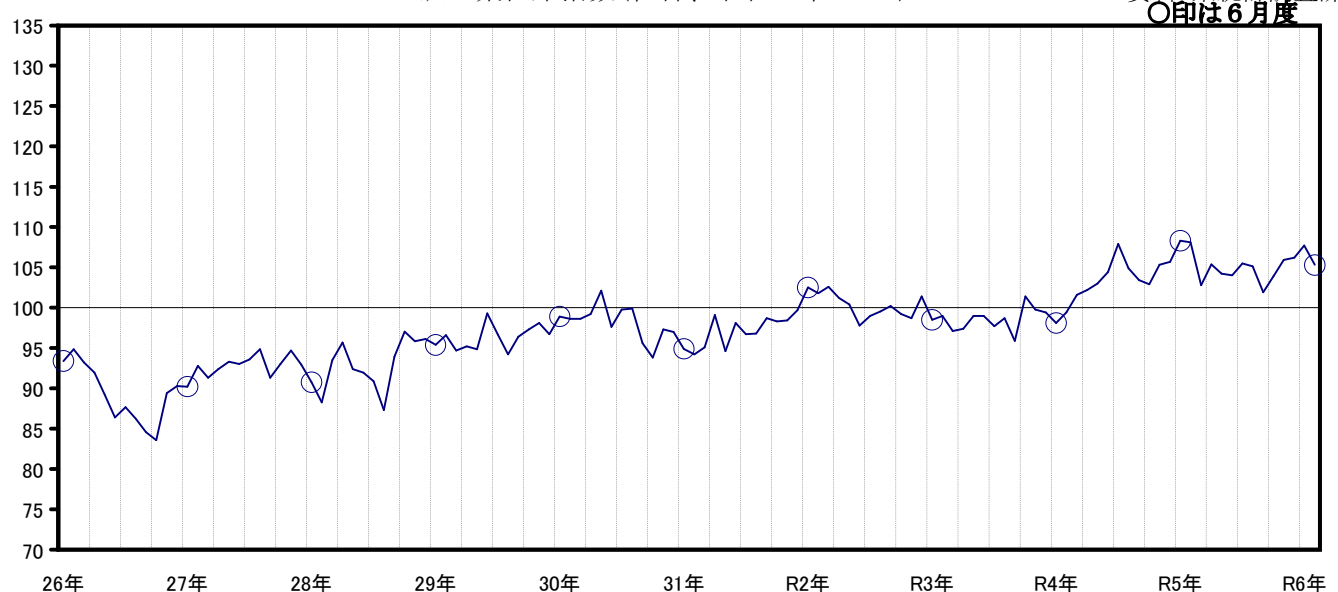
(注)令和2年=100、鋳工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

### <過去10年間の推移>

鋳工業在庫指数(総合、令和2年=100)

<資料>県統計調査課



# 雇 用 面

## 1 雇 用

### (1) 有効求人倍率

**6 月 = 1.09倍**

\*前月比 (季節調整値) : 0.02ポイント減

(季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む)

#### <概 況>

6月の有効求人倍率(季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む)は1.09倍となり、前月を0.02ポイント下回った。41か月連続で1倍台となった。また、全国値を0.14ポイント下回った。新規求人(学卒、パートタイムを除く)(前年同月比16.0%減)は5か月連続で前年実績を下回った。

産業別にみると、情報通信業(前年同月比44.0%増)が9か月連続、運輸業・郵便業(同4.0%増)が3か月連続ぶりに前年実績を上回ったものの、建設業(同11.8%減)が2か月ぶり、製造業(同13.5%減)が20か月連続、卸売業・小売業(同56.5%減)が4か月連続、医療・福祉(同0.7%減)、サービス業(他に分類されないもの)(同17.7%減)がいずれも6か月連続で前年実績を下回った。

#### <最近の動き>

(単位:倍)

	R5年11月	12月	R6年1月	2月	3月	4月	5月	6月
県	1.21	1.21	1.21	1.20	1.18	1.15	1.11	1.09
全 国	1.28	1.27	1.27	1.26	1.28	1.26	1.24	1.23

(注)季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む

#### <産業別新規求人前年同月比の推移>

(単位:%)

	R5年11月	12月	R6年1月	2月	3月	4月	5月	6月
建 設 業	▲ 1.0	14.9	2.5	7.5	▲ 2.5	▲ 2.6	0.5	▲ 11.8
製 造 業	▲ 10.5	▲ 9.6	▲ 7.6	▲ 9.5	▲ 6.2	▲ 11.3	▲ 13.9	▲ 13.5
情 報 通 信 業	3.5	43.0	26.8	8.0	40.7	24.7	37.4	44.0
運 輸 業 ・ 郵 便 業	▲ 2.2	24.0	▲ 13.9	10.6	14.2	▲ 16.7	▲ 7.4	4.0
卸 売 業 ・ 小 売 業	▲ 2.1	▲ 35.0	96.2	1.8	▲ 51.3	▲ 10.3	▲ 6.4	▲ 56.5
医 療 ・ 福 祉	2.9	0.8	▲ 8.0	▲ 3.0	▲ 1.8	▲ 7.7	▲ 2.6	▲ 0.7
サービス業(他に分類されないもの)	▲ 4.2	8.7	▲ 12.7	▲ 2.9	▲ 5.8	▲ 9.3	▲ 2.1	▲ 17.7
合 計	▲ 4.5	▲ 1.2	3.9	▲ 0.2	▲ 8.3	▲ 5.7	▲ 3.9	▲ 16.0

(注)学卒、パートタイムを除く

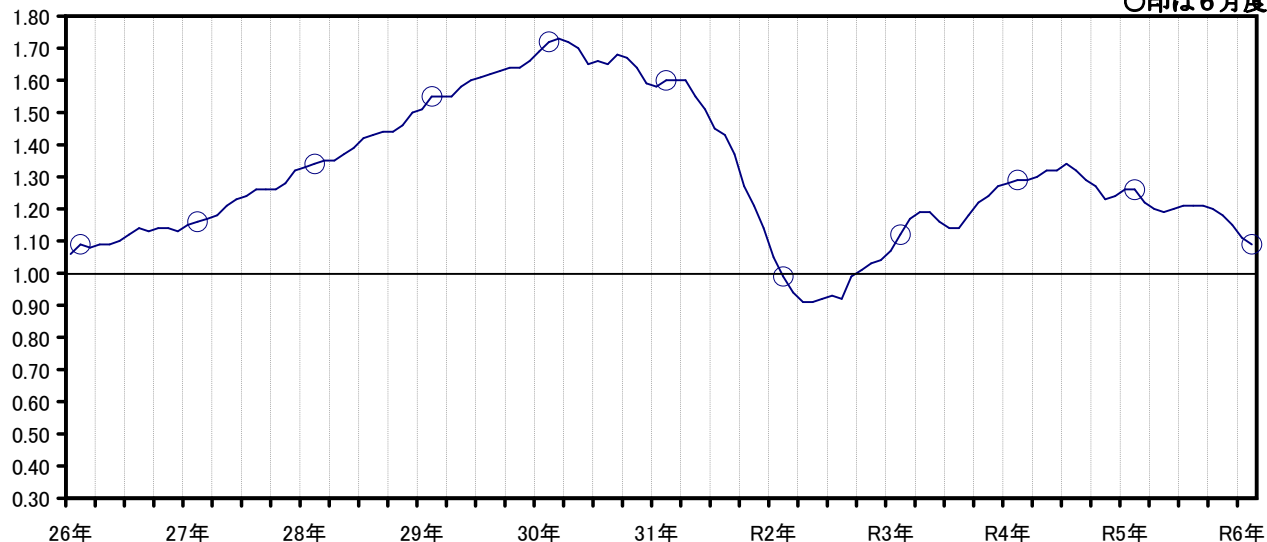
<資料>厚生労働省

#### <過去10年間の推移>

有効求人倍率(学卒を除き、パートタイムを含む)(倍)

<資料>厚生労働省

○印は6月度





(2) 雇用保険受給者実人員

6月 = 12,470人

\*前月比: 2.6%増

\*前年同月比: 3.3%増

<概況>

6月の雇用保険受給者実人員は12,470人で、前月比は2.6%増と、3か月連続で前月を上回った。また、前年同月比は3.3%増と15か月連続で前年実績を上回った。

完全失業率(全国)は2.5%と前月から0.1ポイント改善した。

静岡県(令和6年1~3月)の完全失業率は2.2%で、前期(令和5年10~12月)から0.2ポイント悪化した。

<最近の動き>

	R5年11月	12月	R6年1月	2月	3月	4月	5月	6月
実人員(人)	12,014	11,597	11,466	11,160	10,594	11,190	12,153	12,470
前月比(%)	▲6.2	▲3.5	▲1.1	▲2.7	▲5.1	5.6	8.6	2.6
前年同月比(%)	11.0	9.9	8.9	9.6	2.8	11.5	12.2	3.3
(参考)全国前年同月比(%)	6.0	4.5	5.6	5.7	0.6	6.6	4.3	▲1.2

<資料>厚生労働省

<参考 完全失業率(全国)の推移>

	R5年11月	12月	R6年1月	2月	3月	4月	5月	6月
完全失業率(全国)(%)	2.5	2.4	2.4	2.6	2.6	2.6	2.6	2.5

(注)季節調整値

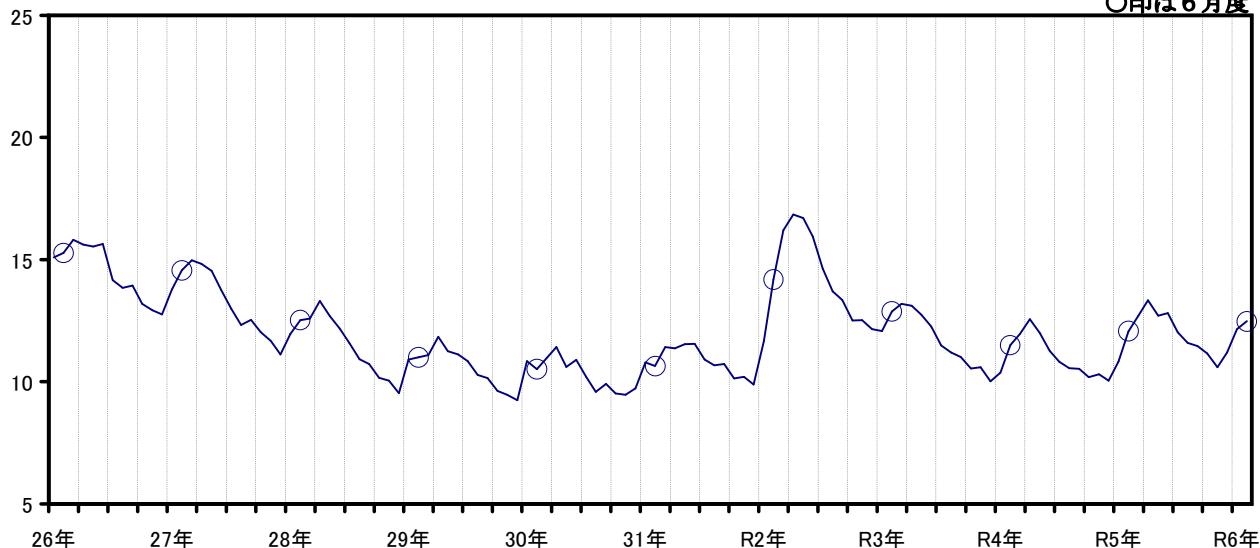
<資料>総務省統計局

<過去10年間の推移>

雇用保険受給者実人員(千人)

<資料>厚生労働省

○印は6月度



### (3) 所定外労働時間指数

5月 = 133.3

\*前月比(季節調整済指数): 4.6%増

(令和2年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、季節調整済) \*前年同月比(原指数) : 13.0%増

#### <概況>

5月の所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、調査産業計)は133.3(季節調整済指数)で、2か月連続で前月を上回った。また、前年同月比(原指数)は13.0%増と、5か月連続で前年実績を上回った。

業種別にみると、建設業(前年同月比 11.8%減)が3か月連続、情報通信業(同 40.1%減)、医療・福祉(同 11.6%減)がいずれも7か月連続、運輸業・郵便業(同 9.1%減)が5か月連続で前年実績を下回ったものの、製造業(同 2.2%増)が5か月ぶり、その他のサービス業(同 30.7%増)が5か月連続で前年実績を上回った。卸売業・小売業は前年と同水準となった。

#### <最近の動き>

	R5年10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月	4月	5月
指数	125.6	120.8	119.1	126.5	117.5	116.2	127.4	133.3
前月比(%)	0.7	▲3.8	▲1.4	6.2	▲7.1	▲1.1	9.6	4.6
前年同月比(%)	3.2	1.6	▲1.5	7.4	2.5	1.6	8.7	13.0
(参考)全国前年同月比(%)	▲0.9	▲2.4	▲4.0	▲4.2	▲2.5	▲1.6	▲3.2	▲1.7

\*令和2年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、指数:季節調整済指数、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

#### <県内業種別所定外労働時間指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R5年10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月	4月	5月
建設業	▲17.6	17.2	▲22.7	0.0	2.6	▲12.7	▲16.0	▲11.8
製造業	1.9	3.2	2.6	▲0.7	0.0	▲4.8	▲4.0	2.2
情報通信業	10.4	▲4.2	▲11.7	▲30.9	▲44.9	▲37.2	▲14.7	▲40.1
運輸業・郵便業	8.0	11.4	11.6	▲15.8	▲18.0	▲16.4	▲18.0	▲9.1
卸売業・小売業	▲22.1	▲13.0	▲6.8	▲3.9	▲6.0	▲3.0	▲9.9	0.0
医療・福祉	4.2	▲11.2	▲20.5	▲27.2	▲18.8	▲1.4	▲4.3	▲11.6
その他のサービス業	▲17.4	▲24.2	▲22.2	35.4	15.3	24.8	9.7	30.7
調査産業計	3.2	1.6	▲1.5	7.4	2.5	1.6	8.7	13.0

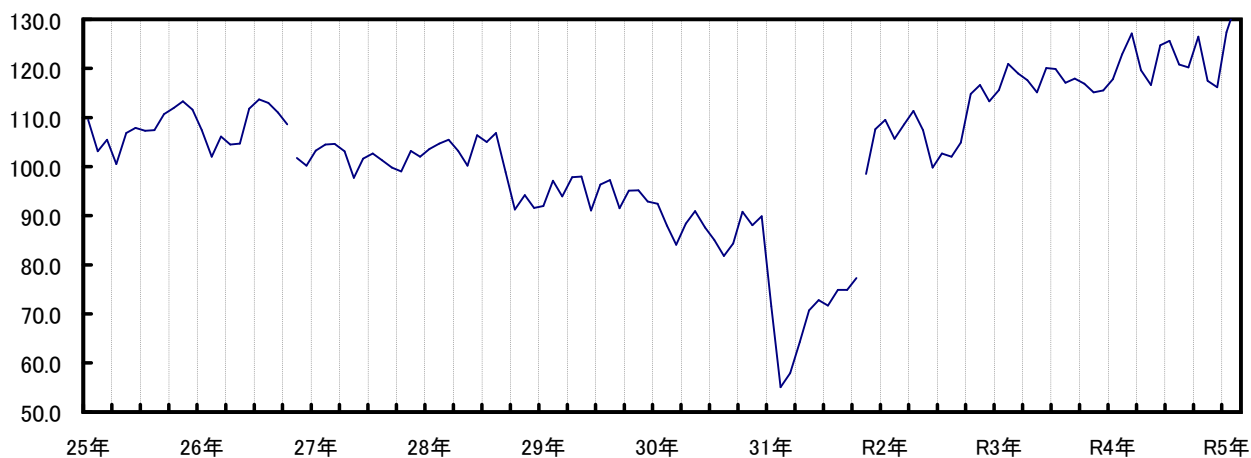
\*令和2年=100、事業所規模30人以上、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

#### <過去10年間の推移>

所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、令和2年=100)

<資料>県統計調査課



## そ の 他

### 1 物 価

#### 国内企業物価指数

7 月 = 123.1

\*前 月 比: 0.3%上昇

(令和2年=100)

\*前年同月比: 3.0%上昇

#### <概 況>

7月の国内企業物価指数は123.1となり、前月比は0.3%の上昇となった。また、前年同月比は3.0%の上昇となった。

	R 5年12月	R 6年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
国内企業物価指数	120.2	120.2	120.4	120.8	121.5	122.4	122.7	123.1
前 月 比 (%)	0.3	0.0	0.2	0.3	0.6	0.7	0.2	0.3
前年同月比 (%)	0.3	0.3	0.7	0.9	1.2	2.6	2.9	3.0

<資料>日本銀行

### 2 金 融

#### (1) 県内金融機関貸出残高

5 月 = 142,324億円

\*前 月 比: 0.2%増

(銀行、信用金庫)

\*前年同月比: 0.4%減

#### <概 況>

5月末の県内の銀行と信用金庫の貸出残高は142,324億円で、前月比とは0.2%の増加となった。また、前年同月比は0.4%の減少となった。

	R 5年10月	11月	12月	R 6年1月	2月	3月	4月	5月
貸出残高(億円)	142,035	142,268	143,418	142,309	142,386	143,735	142,010	142,324
前 月 比 (%)	▲ 0.6	0.2	0.8	▲ 0.8	0.1	0.9	▲ 1.2	0.2
前年同月比 (%)	▲ 0.6	▲ 0.6	▲ 0.3	▲ 0.5	▲ 0.4	▲ 0.5	▲ 1.1	▲ 0.4

<資料>日本銀行静岡支店

#### (2) 貸出約定金利

5 月 = 1.272%

\*前 月 差: 0.010ポイント増

(県内地銀4行総平均)

\*前年同月差: 0.014ポイント減

#### <概 況>

5月の県内地銀4行総平均の貸出約定金利(総合)は1.272%で、前月から0.010ポイントのプラスとなった。なお、前年同月差は0.014ポイントのマイナスとなった。

	R 5年10月	11月	12月	R 6年1月	2月	3月	4月	5月
貸出約定金利 (%)	1.265	1.260	1.254	1.254	1.253	1.256	1.262	1.272
前月差(ポイント)	▲ 0.001	▲ 0.005	▲ 0.006	0.000	▲ 0.001	0.003	0.006	0.010
前年同月差(ポイント)	▲ 0.051	▲ 0.048	▲ 0.049	▲ 0.044	▲ 0.043	▲ 0.036	▲ 0.029	▲ 0.014

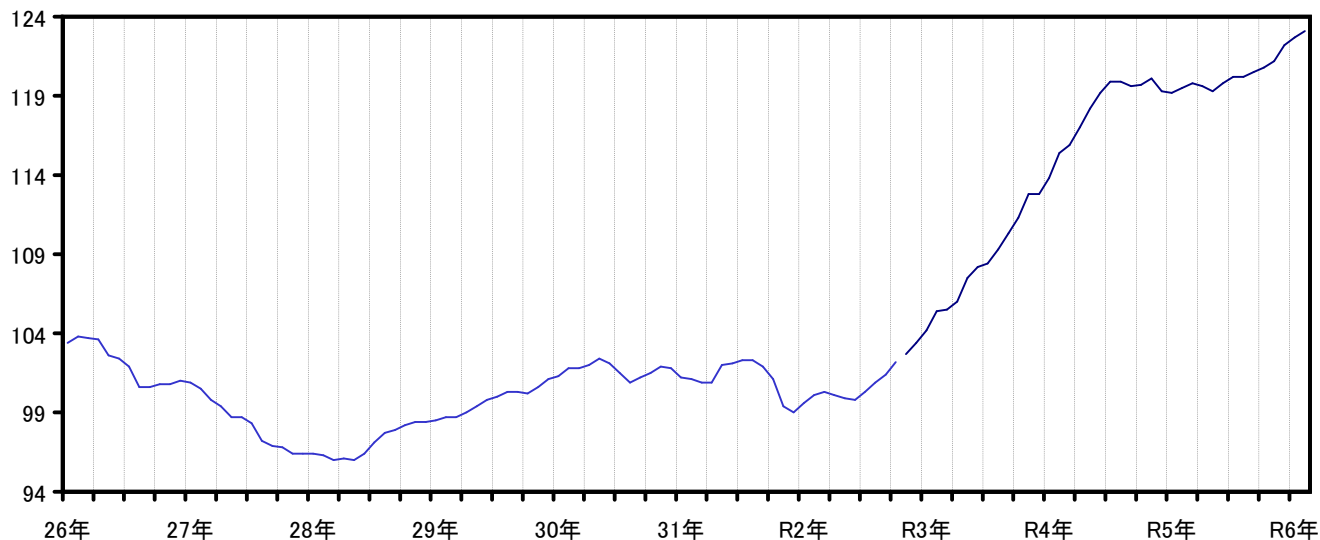
(注) 貸出約定金利は、金融庁報告ベースに過去に遡及して変更

<資料>日本銀行静岡支店

<過去10年間の推移>

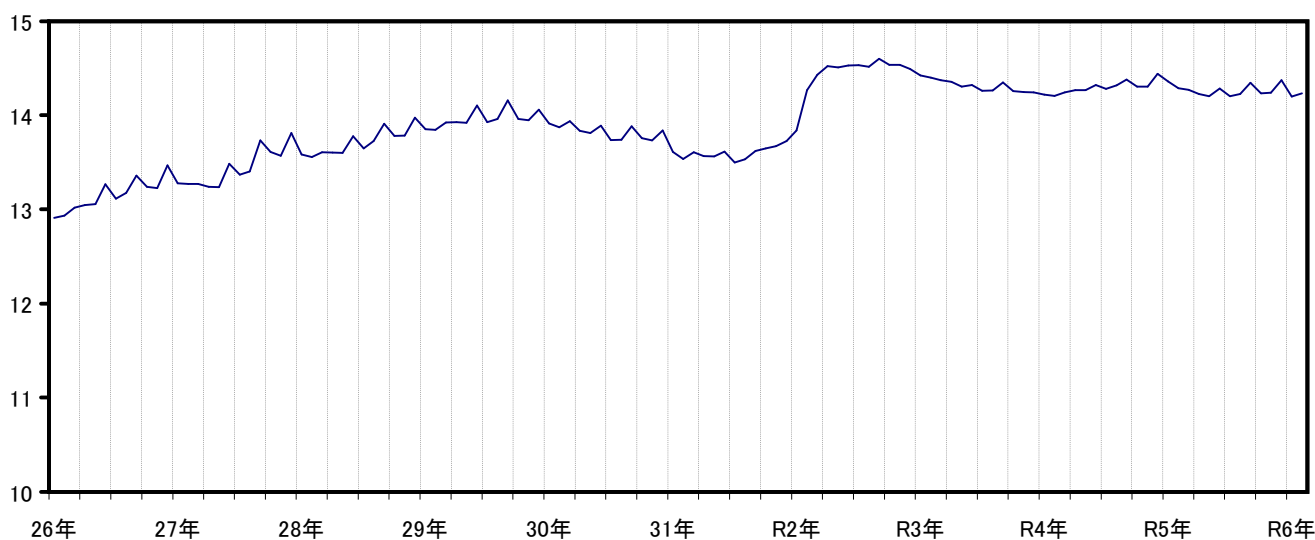
国内企業物価指数(令和2年=100)

<資料>日本銀行



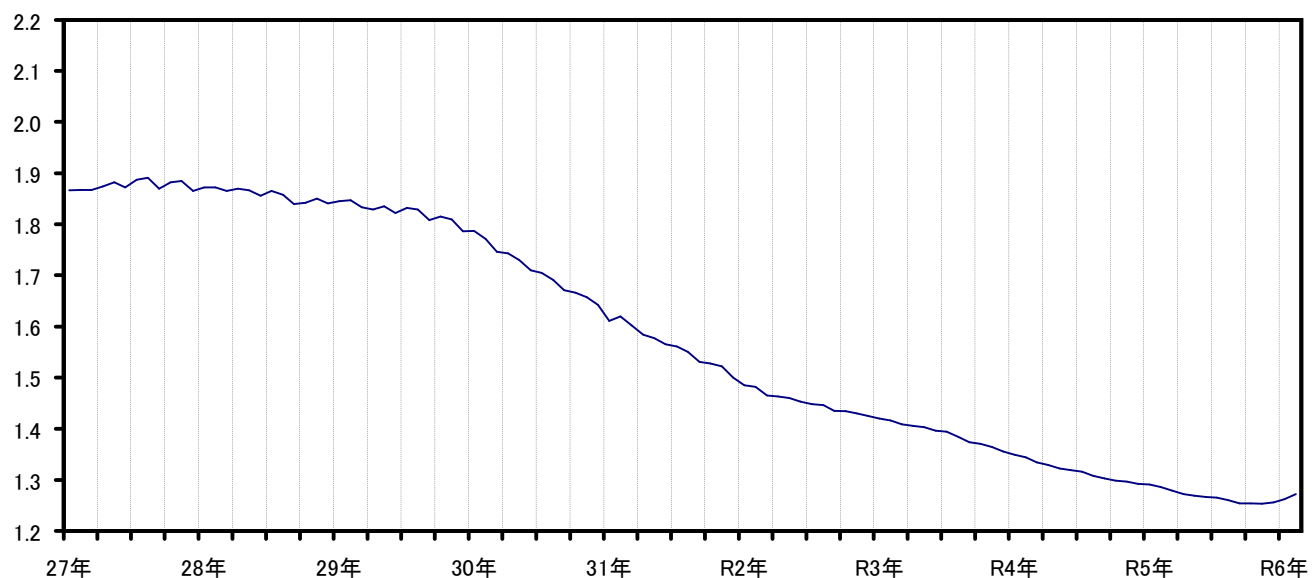
県内金融機関貸出残高(兆円)

<資料>日本銀行静岡支店



県内地銀平均貸出約定金利(%)

<資料>日本銀行静岡支店



**(3) 信用保証協会保証金額****6月 = 30,317百万円**

\*前年同月比： 6.8%増

## &lt;概況&gt;

6月の保証承諾は、金額は30,317百万円（前年同月比 6.8%増）、件数は2,159件（同 4.5%増）と、いずれも前年実績を上回った。

	R 5年11月	12月	R 6年1月	2月	3月	4月	5月	6月
保証金額（百万円）	25,577	31,745	21,251	24,291	39,164	16,255	21,666	30,317
前年同月比（%）	6.9	▲ 1.6	20.1	10.8	8.9	5.6	▲ 5.2	6.8
保証件数（件）	1,763	2,240	1,535	1,794	2,561	1,369	1,711	2,159
前年同月比（%）	▲ 3.7	▲ 3.8	10.2	6.7	4.2	5.1	4.5	4.5

&lt;資料&gt;県信用保証協会

**(4) 円相場****7月 = 158.06円/ドル**

\*前月差： 0.24円安

（東京・銀行間直物中心・平均）

\*前年同月差： 16.85円安

## &lt;概況&gt;

7月の東京外国為替市場での対ドル平均円相場（銀行間直物）は158.06円で、前月と比べて0.24円の円安となり、7か月連続で円安となった。

## &lt;最近の動き&gt;

	R 5年12月	R 6年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
平均相場（円）	144.07	146.57	149.42	149.63	153.43	156.13	157.82	158.06
前月差（円）	▲ 5.76	2.50	2.85	0.21	3.80	2.70	1.69	0.24
前年同月差（円）	9.14	16.37	16.74	15.78	20.10	18.76	16.63	16.85

▲…円高

（注）東京外国為替相場・銀行間直物中心相場・平均

**3 企業経営****企業倒産件数****6月 = 13件**

\*前年同月比： 13.3%減

## &lt;概況&gt;

6月の負債総額 1,000万円以上の企業倒産は、件数は13件（前年同月比 13.3%減）、負債総額は1,340百万円（同 17.7%減）と、いずれも前年実績を下回った。

原因別にみると、販売不振を原因とするいわゆる「不況型倒産」が10件と全体の76.9%を占め、23か月連続で50%以上となっている。

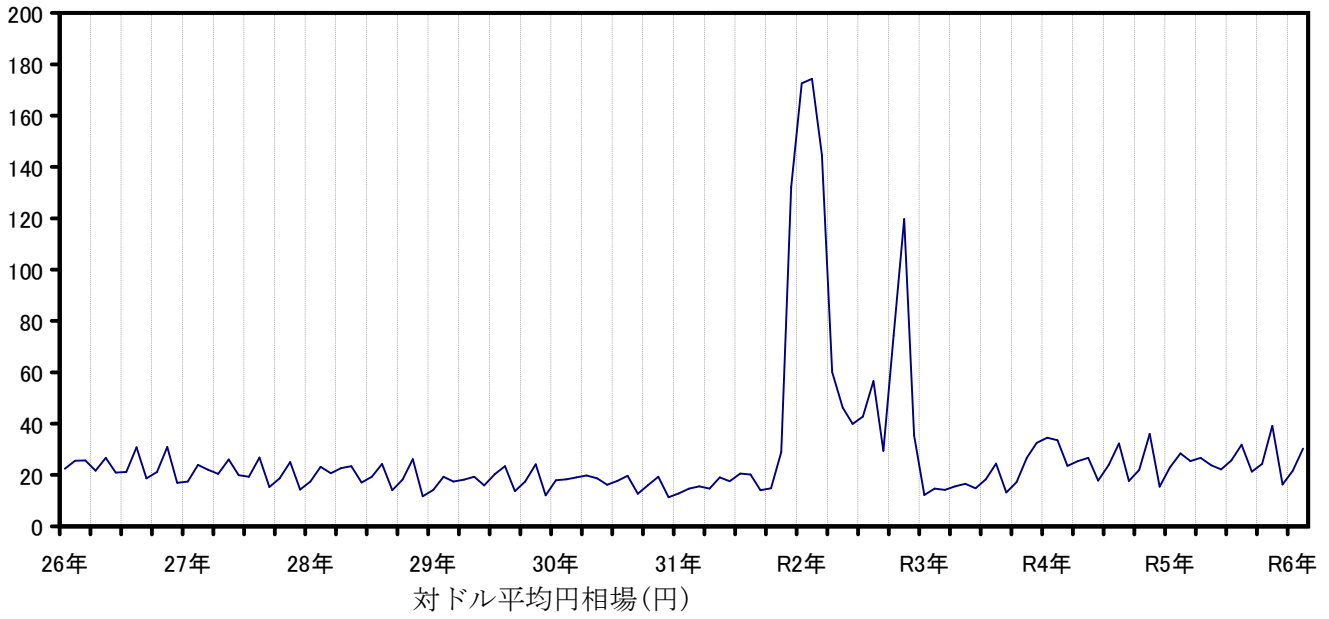
	R 5年11月	12月	R 6年1月	2月	3月	4月	5月	6月
倒産件数（件）	19	19	15	9	18	22	22	13
前年同月比（%）	35.7	5.5	▲ 21.0	▲ 52.6	▲ 40.0	100.0	29.4	▲ 13.3
うち不況型倒産件数（件）	17	14	10	8	15	19	19	10
負債総額（百万円）	2,885	2,062	1,219	990	4,633	2,360	10,415	1,340
前年同月比（%）	▲ 79.6	▲ 26.6	▲ 39.5	▲ 26.9	26.2	276.3	200.1	▲ 17.7

&lt;資料&gt;（株）東京商工リサーチ静岡支社

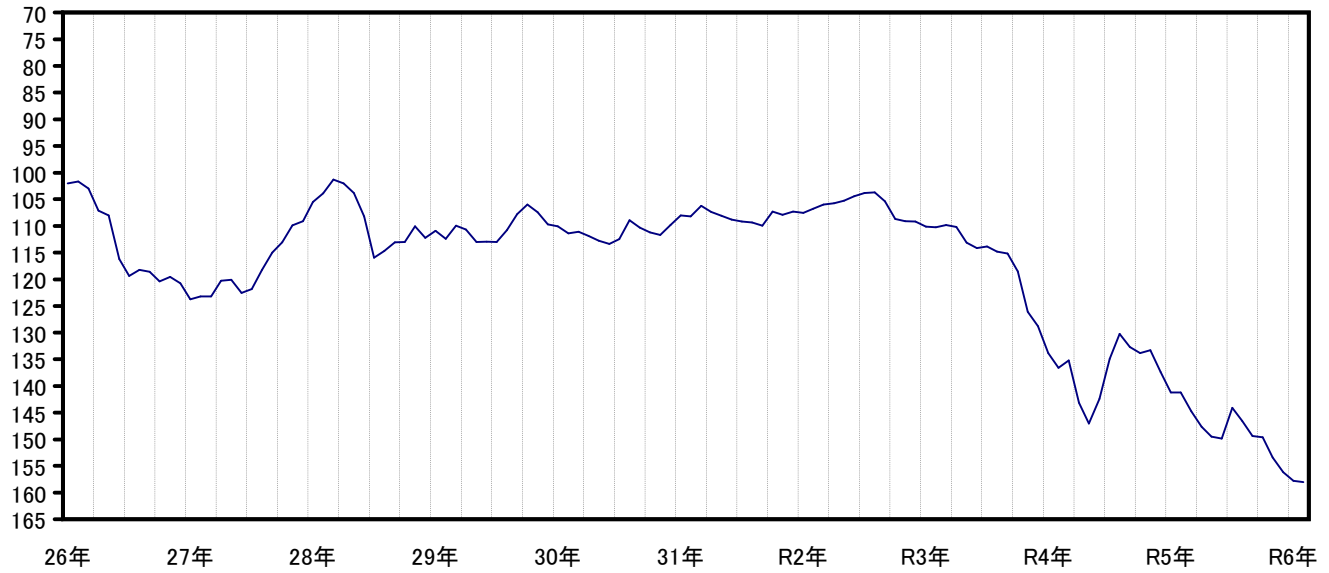
<過去10年間の推移>

信用保証協会保証承諾金額(十億円)

<資料>県信用保証協会

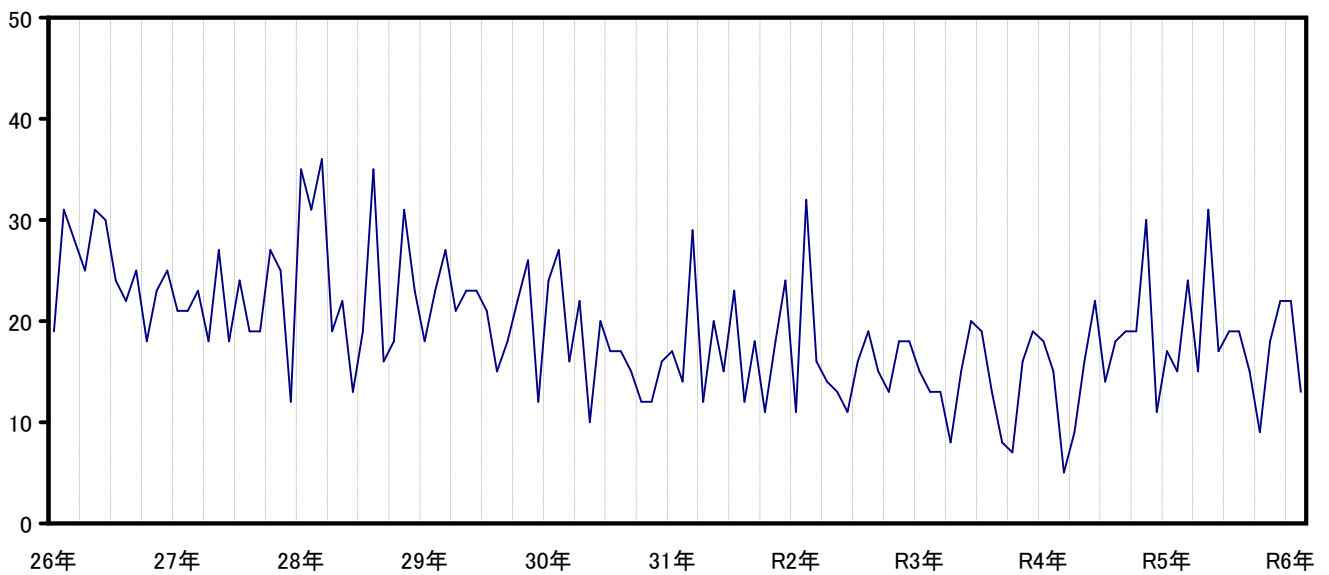


対ドル平均円相場(円)



企業倒産件数(件)

<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社



### Ⅲ 令和6年6月を中心とした静岡県主要産業の動向

業 種	産 業 動 向
二 輪 車	<p>5月の国内二輪車生産台数は、43,940台（前年同月比 15.8%減）で、2か月ぶりに前年実績を下回った。原付第一種（50cc以下）は、7,975台（同 15.2%増）で、2か月連続で前年実績を上回った。原付第二種（51cc～125cc）は、4,195台（同 22.9%減）で、5か月連続で前年実績を下回った。軽二輪車（126cc～250cc）は、3,399台（同 31.3%減）で2か月ぶりに前年実績を下回った。小型二輪車（251cc以上）は、28,371台（同 18.7%減）で、2か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>出荷台数は、国内向けは、25,927台（同 8.6%減）で、5か月連続で前年実績を下回った。輸出向けは、33,001台（同 9.0%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
自 動 車	<p>5月の自動車国内生産台数は、651,285台（前年同月比 4.5%増）と、5か月ぶりに前年実績を上回った。輸出は295,741台（同 0.4%減）と、2か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>国内生産は、トラックが12か月ぶり、乗用車が5か月ぶりに前年実績を上回ったことから、全体でも5か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
電気機械	<p>6月の冷蔵庫の国内出荷額は393億円（前年同月比 11.5%減）で、4か月連続で前年実績を下回り、国内出荷台数も307千台（同 9.1%減）で、4か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>6月のエアコンの国内出荷台数は、家庭向けは1,308千台（同 1.9%増）で、3か月連続で前年実績を上回った。業務用は84千台（同 0.5%減）で、3か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>6月の携帯電話の国内出荷台数は、696千台（同 11.5%減）で、14か月連続で前年実績を下回った。うち、スマートフォンは、581千台（同 11.4%減）で、21か月連続で前年実績を下回った。単月のスマートフォン比率は83.4%であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本電機工業会、日本冷凍空調工業会、JEITA/CIAJ</p>
生産用機械	<p>6月の工作機械の受注総額は、1,338億1,600万円（前年同月比 9.7%増）で、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>内訳をみると、外需は930億600万円（同 14.6%増）で、2か月連続で前年実績を上回った。アジア向けが469億9,700万円（同 41.1%増）で、3か月連続で前年実績を上回った。内需は408億1,000万円（同 0.1%減）で、22か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>県内関連団体からは、「全体的に良くない。新規事業にも転換できず、作業効率を上げなければ淘汰されてしまう。」という声が聞かれた。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本工作機械工業会、静岡県中小企業団体中央会</p>

業 種	産 業 動 向
楽 器	<p>6月の県内楽器メーカーの販売金額は、57億8,364万円（前年同月比14.6%減）で、2か月ぶりに前年実績を下回った。内訳は輸出向けが36億6,002万円（同16.9%減）で、2か月ぶりに前年実績を下回り、国内向けが21億2,362万円（同10.4%減）で、3か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>ピアノ生産台数は2,342台（同33.9%減）で、12か月連続で前年実績を下回った。機種別では、アップライトピアノが1,343台（同40.6%減）、グランドピアノが999台（同22.2%減）であった。また、販売台数は、輸出向けが1,534台（同42.1%減）で、12か月連続で前年実績を下回り、国内向けが916台（同29.9%減）で、5か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県楽器製造協会</p>
紙	<p>6月の紙・板紙の国内出荷高は、1,583千トン（前年同月比6.3%減）で、22か月連続で前年実績を下回った。内訳は、紙は723千トン（同7.6%減）で、22か月連続で前年実績を下回った。板紙は861千トン（同5.2%減）と、2か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>品種別では、主力の印刷・情報用紙が、370千トン（同9.0%減）で、22か月連続で前年実績を下回った。ティシュペーパー、トイレットペーパー等の家庭紙は、140千トン（同4.3%減）と、2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本製紙連合会「紙・板紙需給速報」</p>
缶詰・飲料	<p>6月の県内生産量は、食缶類が国内向け969千箱（前年同月比1.3%減）で2か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>分類別でみると、水産缶（国内向け）は718千箱（同1.9%減）で2か月ぶりに前年実績を下回った。うち主力であるツナ缶は495千箱（同4.4%減）で、13か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>農畜産缶（国内向け）は251千箱（同0.4%増）で2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>飲料缶類は、国内向けが7,220千箱（同3.7%減）で、4か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県缶詰協会</p>
織 維	<p>6月の広幅織物の県内生産は、717千㎡（前年同月比3.5%増）で、10か月連続で前年実績を上回った。このうち、綿布が主体の一般広幅織物の生産は、672千㎡（同4.6%増）で、11か月連続で前年実績を上回った。別珍・コールテンの生産は、45千㎡（同10.0%減）で、3か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>小幅織物の県内生産は、18千㎡（同6.4%減）で、4か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞遠州織物工業協同組合、天龍社織物工業協同組合、浜松織物協同組合</p>
家 具	<p>6月の全国百貨店での家具販売額は、39億2,155万円（前年同月比5.7%増）と4か月連続で前年実績を上回った。また、大型量販店での家具・インテリアの販売額は、665億3,705万円（同1.9%増）と3か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本百貨店協会、日本チェーンストア協会</p>

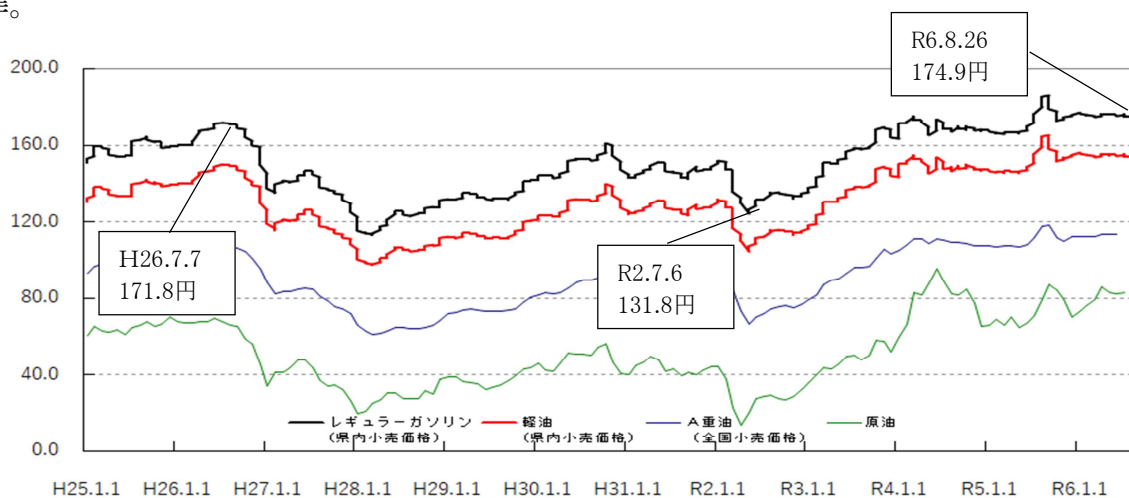


業 種	産 業 動 向
小 売 業	<p>6月の県内百貨店・スーパーの販売額は、38,043百万円（既存店前年同月比3.7%増）と前年同月の実績を上回った。品目別に見ると、身の回り品及び家庭用品が前年同月の実績を下回ったものの、衣料品及び飲食料品が前年同月の実績を上回った。</p> <p>中部の百貨店への聞き取りによると、前年同月と比較して売上げ及び来客数が増加した。衣料品、身の回り品及び雑貨（化粧品、美術・宝飾・貴金属等）の売上げが好調だった一方で、家庭用品の売上げは不調だった。</p> <p>県内の食品スーパーへの聞き取りによると、前年同月と比較して売上げ及び来客数が増加した。感謝デーや記念セールの実施による来客数の増加に伴い、売上げも好調だった。</p> <p>西部の総合スーパーへの聞き取りによると、前年同月と比較して売上げ及び来客数が増加した。食品や化粧品の売上げが好調だった一方で、家電製品の売上げは不調だった。</p> <p style="text-align: right;">〈資料〉 関東経済産業局、静岡県地域産業課</p>
観 光	<p>令和6年6月の県内主要10観光施設の合計入込客数は約29万人で、前年同月比7.2%減となった。</p> <p>浜名湖花博の開催により入込客数が大幅に増加した施設があった一方で、設備更新工事等で休業した施設が複数あった影響により全体としては減少した。</p> <p>主要有料道路（4路線）の合計通行車両数は、約58万台となり、前年同月比11.4%増となった。</p> <p style="text-align: right;">〈資料〉 静岡県観光政策課</p>

＜原油高の状況について＞

新型コロナウイルス感染症からの経済活動再開に伴う需要増大や、海外情勢の不安定化などにより原油価格が上昇。

足もとの県内ガソリン等小売価格は、レギュラー174.9円/Lと、平成20年8月以来の高水準。



出典：石油情報センター

## IV データからみた県内主要産業

### <二輪車>

	R 5年10月	11月	12月	R 6年1月	2月	3月	4月	5月	6月
完成車生産台数(台)	28,264	28,959	24,847	22,741	24,611	24,963	25,290	21,653	22,084
前年同月比(%)	▲ 1.6	▲ 3.7	▲ 7.8	▲ 7.2	▲ 8.3	▲ 9.4	9.9	▲ 7.2	▲ 23.5
KD輸出額(百万円)	1,319	1,441	1,704	1,153	1,377	1,159	1,103	655	716
前年同月比(%)	▲ 19.2	▲ 11.8	8.4	▲ 22.7	▲ 12.6	▲ 30.3	▲ 36.9	▲ 45.8	▲ 9.2

### <楽 器>

	R 5年10月	11月	12月	R 6年1月	2月	3月	4月	5月	6月
生産総額(百万円)	3,614	3,510	3,719	2,913	3,545	3,573	3,468	3,503	3,339
前年同月比(%)	9.4	7.1	14.9	3.0	7.6	1.3	6.1	1.9	▲ 16.8

### <缶 詰>

	R 5年10月	1 1月	1 2月	R 6年1月	2月	3月	4月	5月	6月
食缶生産高(千ケース)	940	1,023	931	855	910	880	932	925	969
前年同月比(%)	▲ 18.6	▲ 10.2	▲ 16.3	▲ 6.4	▲ 0.1	▲ 14.0	▲ 7.5	1.0	▲ 3.3
うち水産缶詰(%)	▲ 23.3	▲ 13.0	▲ 19.9	▲ 0.8	12.6	▲ 6.3	▲ 3.5	0.7	▲ 1.9
農畜産缶詰(%)	▲ 3.9	▲ 2.4	▲ 6.2	▲ 18.4	▲ 25.2	▲ 30.1	▲ 17.7	1.7	0.4
飲料缶生産高(千ケース)	6,618	7,029	6,359	5,292	6,130	7,231	6,743	7,363	7,220
前年同月比(%)	▲ 6.8	9.6	▲ 1.8	4.5	0.0	▲ 3.2	▲ 14.0	▲ 4.1	▲ 3.7

### <織 維>

	R 5年10月	11月	12月	R 6年1月	2月	3月	4月	5月	6月
広幅織物(千㎡)	867	1,049	1,000	983	932	928	905	751	717
前年同月比(%)	11.2	16.2	34.0	31.5	34.8	31.2	33.9	16.6	3.5
小幅織物(千㎡)	18	18	19	16	16	18	17	16	18
前年同月比(%)	13.0	8.3	▲ 5.0	1.2	0.7	▲ 1.1	▲ 9.4	▲ 16.9	▲ 6.4

### <観 光>

	R 5年10月	11月	12月	R 6年1月	2月	3月	4月	5月	6月
延べ宿泊者数 (千人泊)	1,707	1,841	1,802	1,659	1,787	2,091	1,720	1,776	1,500
前年同月比(%)	14.3	8.0	6.0	17.1	22.9	9.3	4.4	▲ 2.7	4.5
観光施設(10施設)入込 (千人)	470	458	334	245	232	361	634	783	293
前年同月比(%)	6.4	13.9	5.6	▲ 33.5	▲ 31.4	▲ 29.8	37.2	44.2	▲ 7.2
有料道路(4路線)通行 量(千台)	604	621	613	564	575	645	661	698	583
前年同月比(%)	▲ 1.4	2.0	▲ 1.0	2.9	3.3	0.2	17.9	14.8	11.4

本書で掲載している県内の主要統計資料の時系列（過去10年間）のデータは静岡県公式ホームページの「統計センターしずおか」で公表しています。

<http://toukei.pref.shizuoka.jp/>

需要面	生産面	雇用面	その他
・大型小売店販売額	・鉱工業生産指数	・有効求人倍率	・国内企業物価指数
・専門量販店等販売額	・鉱工業在庫指数	・雇用保険受給者実人員	・県内金融機関貸出残高
・自動車新規登録台数		・完全失業率	・信用保証協会保証金額
・新設住宅着工戸数		・所定外労働時間指数	・企業倒産件数
・清水税関支所管内輸出額			
・清水税関支所管内輸入額			

### 提供いただいている資料

資料名	提供元	ホームページアドレス
公共工事請負金額	東日本建設業保証（株）	<a href="http://www.ejcs.co.jp/region/index.html">http://www.ejcs.co.jp/region/index.html</a>
設備投資	日本銀行静岡支店	<a href="http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html">http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html</a>
貸出約定金利		
国内企業物価指数	日本銀行	<a href="http://www.boj.or.jp/type/stat/boj_stat/index.htm">http://www.boj.or.jp/type/stat/boj_stat/index.htm</a>
円相場		

### 参考となる全国の資料等

資料名	提供元	ホームページアドレス
鉱工業生産指数	経済産業省	<a href="http://www.meti.go.jp/statistics/index.html">http://www.meti.go.jp/statistics/index.html</a>
大型小売店販売額		
専門量販店等販売額		
輸出入	財務省	<a href="http://www.mof.go.jp/siryou.htm">http://www.mof.go.jp/siryou.htm</a>
国際収支		
機械受注	内閣府	<a href="http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html">http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html</a>
完全失業率	厚生労働省	<a href="http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html">http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html</a>
有効求人倍率		

静岡県月例経済報告  
令和6年8月号 通巻580号

発行 静岡県経済産業部  
令和6年8月

編集 経済産業部政策管理局産業政策課  
〒420-8601  
静岡市葵区追手町9-6  
TEL 054-221-2635  
FAX 054-221-3217  
E-mail [sangyo-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp](mailto:sangyo-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp)  
URL <https://www.pref.shizuoka.jp/kensei/introduction/soshiki/1002123/index.html>